

資料④

記録カードの例

- 調べたことを記録するには、カードを使うとまとめるのに便利です。
- カードは調べるテーマごとに別々にし、同じ調べるテーマでも、使った資料ごとにカードを変えましょう。
- カードの欄に調べるテーマを書きます。

カードの書き方

テーマ名は、後で分類しやすいように大きめの字で書く。	私たちにできること ○月○日
	1 水を節約するには
	決め手は蛇口の開け閉め
	たとえば歯みがき 流しっぱなしなら6リットル
	コップに水をくんで蛇口を閉めるとコップ3杯 (0.6リットル)
	2 水の汚れを減らす
	(参考資料) 『水の大研究～地球の生命のみなもと～』(PHP 研究所) (2005年) 58ページ～61ページ

カードをつくった日付を書く。

調べた内容の要点を短くまとめて書く。できれば、箇条書きにする。

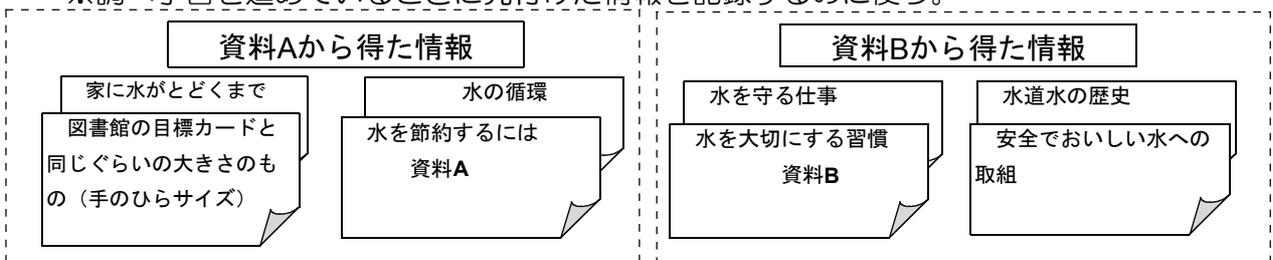
5.4リットルも違う。これはすごい!!

書名、著者名、発行所を書く。発行年月日、参照ページなども記入しておくとう便利。

◇ 調べ学習に使うカードを、小、大種類のカードを用意して、組み合わせて使う方法もあります。

小カード (コピー用紙、付箋紙など)

※調べ学習を進めているときに見つけた情報を記録するのに使う。



大カード (少し厚い紙)

※何枚かの小カードの記録をまとめるときに使う。

保存できるような紙質のものがよい。

資料A
水を節約するには

資料B
水を大切に作る習慣

節水、ためしてみて!!
わが家の工夫

※ 集めた資料の中から同じ事柄をまとめたり、新しい事柄を書き加えたりしながら整理していく。

自分の考えを書く

B5版ノートを半分にした大きさぐらい

